

氏名	久保田 亮	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生学、健康食品学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1997年共立薬科大学(現 慶應義塾大学)薬学部、2001年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本電気泳動学会（評議員）、生物試料分析科学会（評議員）、日本オゾン医療・審美学会（常任理事）、埼玉県臨床検査技師会（理事）、日本臨床検査学教育協議会、日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師会、日本医療検査科学会、日本薬学会など				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	黒酢に含まれるアンジオテンシンⅠ変換酵素阻害ペプチドの解析	共同	第15回日本臨床検査学教育学会学術大会、愛知県豊明市		関穂乃花, 長谷川美遥, 谷美苗, 久保田亮	2021年8月
2	黒酢のSOD様活性測定法とDPPHラジカル消去活性測定法による抗酸化物質の解析	共同	第15回日本臨床検査学教育学会学術大会、愛知県豊明市		岡田明也, 長谷川美遥, 谷美苗, 久保田亮	2021年8月
3	電気泳動法をもちいた尿蛋白質と尿中エクソソーム蛋白質の比較	共同	日本医療検査科学会第53回大会、横浜市		新井千花, 関穂乃花, 瀧野央誉, 吉川優里奈, 久保田亮	2021年10月
4	イムノクロマトグラフィー法の高感度検出法の開発	共同	日本医療検査科学会第53回大会、横浜市		八木橋大樹, 久保田亮	2021年10月
5	黒酢の抗酸化作用成分の解析	共同	第31・32回生物試料分析科学会合同年次学術集会、四日市市（オンライン）		岡田明也, 関穂乃花, 長谷川美遥, 谷美苗, 久保田亮	2022年3月
6	尿に含まれるエクソソーム中蛋白質の保存条件の検討	共同	第31・32回生物試料分析科学会合同年次学術集会、四日市市（オンライン）		新井千花, 瀧野央誉, 吉川優里奈, 久保田亮	2022年3月
7	発光イムノクロマトグラフィー法の最適条件の検討	共同	第31・32回生物試料分析科学会合同年次学術集会、四日市市（オンライン）		八木橋大樹, 岡田明也, 久保田亮	2022年3月
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	環境保健学・関係法規	○	15	臨床検査技師国家試験問題のうち環境保健学・関係法規分野に関係のある問題を示しながら進めた。教科書には反映されていない最新の法律改正の内容や最新のデータに基づく内容をハイブリット方式で講義を行った。		

2	情報科学概論	○	8	臨床検査技師国家試験問題のうち情報科学分野に関係のある問題を示しながら進めた。特に医療分野に用いる情報科学の基礎についてハイブリット形式で講義した。
3	健康食品総論	○	8	11月に実施される健康食品管理士認定試験の認定取得に向けた学生支援を行うとともに、現在の健康食品の状況、健康食品に関する法律など、社会に出て役立つ知識をリアルタイムオンライン形式で講義した。
4	疾病と健康食品	○	8	11月に実施される健康食品管理士認定試験の認定取得に向けた学生支援を行うとともに、栄養素の代謝、医薬品と健康食品の関わりなど、社会に出て役立つ知識をリアルタイムオンライン形式で講義した。
5	生体情報評価学	○	3	大学院博士前期課程の検査領域の科目であり、専門領域である公衆衛生・情報科学分野について講義を行った。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	検査総合演習		1	臨床検査の各専門分野のうち、国家試験出題科目である公衆衛生学について、まとめと総括を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	環境衛生検査学実習	○	23	コロナ禍であったため、半数ずつ対面の実習を行った。グループ内で必要な装置や器具、試薬を考えさせ、自ら準備をさせた。実験結果はグループで共有して報告させた。
2	IPW実習	○	2021.4～2022.10	IPW実習科目責任者会の主任科目責任者としてIPW実習全体の運営の管理を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2021.12	主指導	4名 副指導 名
2	修士論文	2020.4～2022.3	主指導（指導教員）	4名 副指導（指導補助教員） 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	非常勤講師対応（医動物学実習、健診検査、医用工学概論、医用工学演習）	2021.4～2021.12	非常勤講師が授業を進めやすいようにテキスト作成の補佐、講義の準備、実習事後指導等の補佐を行い、時間割、シラバス等の次年度の打ち合わせを実施した。
2	臨地実習病院担当	2021.9～2022.3	松戸市立総合医療センターの施設担当として、12月から2名の学生を担当。また済生会川口総合病院の施設担当として、12月から3名、3月から2名の学生を担当した。それぞれの施設との連絡・調整や学生指導を行った。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2021年度埼玉県立大学公開講座	埼玉県立大学	市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ①（オンライン）	2021.10
2	2021年度埼玉県立大学公開講座	埼玉県立大学	市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ②（オンライン）	2021.11
3	2021年度埼玉県立大学公開講座	埼玉県立大学	市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ③（オンライン）	2021.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	公益社団法人埼玉県臨床検査技師会	学術部 理事	2020.7～2022.6
2	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合精度管理委員会 委員	2018.7～
3	公益社団法人日本臨床検査同学院	二級臨床検査士試験実行委員	2013.4～
4	日本オゾン医療・審美学会	常任理事	2017.10～
5	生物試料分析科学会	評議員	2015.2～
6	日本電気泳動学会	評議員	2012.4～

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国際協力事業	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会	WADA (World Anti-Doping Agency) 公認の検査センターにおける基礎教育、工程別教育を受け、7月13日～9月5日の選手村開村期間中、ドーピング分析業務に協力した。一日最大で約400件の分析業務を行い、オリンピックでは延べ6000件程度、パラリンピックでは延べ2000件程度の検体を分析した。	2021.2～2021.9
2	産業支援	日本薬品株式会社	本学の液体クロマトグラフィー装置で解析し、黒酢に含まれていると報告されている血圧を下げるペプチドを見つけ出す。その解析方法並びに解析結果について特定講座として講演する。	2021.11～2022.3
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPE科目担当者会 IPW実習主任科目責任者	2021.4～2023.3	
2	学長指定プロジェクトへの関与	入試関連内容	2021.4～2022.3	
3	大学広報活動	オープンキャンパス時の学科・専攻説明	2021.4～2022.3	
4	大学広報活動	夢ナビ講義VIDEOによる大学紹介	2021.12～	
5	学生支援	4年次学生担任、専攻内就職担当	2021.4～2022.3	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			